

東海旅客鉄道株式会社  
新幹線鉄道事業本部関西支社  
支社長 畑田 整吾 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部  
執行委員長 小林 國博

「定期健康診断の再延期」に関する緊急申し入れ

7月29日、名古屋運輸所の運転士が新型コロナウイルスに感染していることが分かったと会社掲示が出されている。

JR東海の駅係員、乗務員や関連会社社員等に新型コロナウイルス感染への不安が増す中、延期されていた「第1回定期健康診断」が、8月3日から関西地区において実施される予定である。

今回の定期健康診断受診時の対策として、マスク着用や入出場時の手首等の消毒が注意事項として会社掲示で掲示されている。

しかし、受診にあたっては、さまざまな検査器具の使用や看護師との至近距離での採血、産業医との面談等受診する社員や医療従事者にとって、新型コロナウイルスへの感染防止には不十分であると考えます。また、JR東海社員や関連会社社員に新型コロナウイルス感染が広がる中、多くの社員から感染への不安が増大しています。労働組合として現状の対策では、不十分であり再延期が必要であると考えます。

よって、下記のとおり緊急に申し入れるので、早急に団体交渉を開催し、社員の健康管理及び労働環境の整備に努めること。

記

1. 新型コロナウイルスの感染が拡大する中、8月3日から関西地区において「第1回定期健康診断」が実施される。感染防止対策を明らかにすること。
2. 定期健康診断受診時の新型コロナウイルス対策として、マスク着用や入出場時の手首等の消毒では不十分であると考えます。会社の考えを明らかにすること。
3. 受診時、さまざまな検査器具の使用時や看護師との至近距離での採血、産業医との面談時における感染防止対策を明らかにすること。
4. 新型コロナウイルス感染が終息するまで、定期健康診断の実施を再延期すること。

以上